

「問一」～「三」の回答順は自由でよいが、必ず問の番号を記してから答えること」

問一 次の十五項目の中から十項目を選び、ごく簡潔に説明せよ。
 (時代の分かるものは必ず時代を記すこと)

ア 元稹	イ 吳趼人	ウ 呂淑湘	エ 傷痕文学	オ 『三宝太監西洋記』
カ 臉譜	キ 黃庭堅	ク 《雷雨》	ケ 五行志	コ アーミーメソッド
サ 艾青	シ 「文賦」	ス 説三分	セ 元好問	ソ 名詞の場所化

問二 次の「ア」「イ」のうち、いずれか一つの問題を選んで解答せよ。

「ア」次の文章を読んで、全文を日本語に訳せ。

「長恨歌」自是千古絶作。其叙楊妃入宮、與陳鴻所傳選自壽邸者不同、非惟懼文字之禍、亦諱惡之義本當如是也。惟方士訪至蓬萊、得妃密語歸報上皇一節、此蓋時俗訛傳、本非實事。明皇自蜀還長安、居興慶宮、地近市塵、尚有外人進見之事。及上元元年、李輔國矯詔遷之於西内、元從之陳玄禮・高力士等皆流徙遠方、左右近侍悉另易人、宮禁嚴密、内外不通可知。且鴻『傳』云、「上皇得方士歸奏、其年夏四月即晏駕。」則是寶應元年事也。其時肅宗臥病、輔國疑忌益深、關防必益密、豈有聽方士出入之理。即方士能隱形入見、而金釵・鈿盒有物有質、又豈馭氣者所能攜帶。此必無之事。特一時俚俗傳聞、易於聳聽、香山竟爲詩以實之、遂成千古耳。

(趙翼『甌北詩話』卷四)

(注)

陳鴻……人名。 明皇……指玄宗皇帝。 壽……指壽王。 李輔國……人名。 西内……指長安太極宮。
 陳玄禮……人名。 高力士……人名。 鴻『傳』……指『長恨歌傳』。 香山……指白居易。

「イ」次の文章を読んで、傍線部①②③を日本語に訳せ。

①且說張元伯到家、參見老母。母曰…「吾兒一去、音信不聞、令我懸望、如饑似渴。」張劭曰…「不孝男於途中遇山陽范巨卿、結為兄弟、以此逗留多時。」母曰…「巨卿何人也？」張劭備述詳細。母曰…「功名事、皆分定。既逢信義之人結交、甚快我心。」少刻弟歸、亦以此事從頭說知、各各歡喜。

自此張劭在家、再攻書史、以度歲月。光陰迅速、漸近重陽。劭乃預先畜養肥雞一隻、杜醢濁酒。是日早起、灑掃草堂、中設母座、旁列范巨卿位、遍插菊花於瓶中、焚信香於座上。呼弟宰雞炊飯、以待巨卿。②母曰…「山陽至此、迢遞千里、恐巨卿未必應期而至。待其來、殺雞未遲。」劭曰…「巨卿、信士也、必然今日至矣、安肯誤雞黍之約？入門便見所許之物、足見我之待久。如候巨卿來而後宰之、不見我倦倦之意。」母曰…「吾兒之友、必是端士。」遂烹鯨以待。

是日、天晴日朗、萬里無雲。劭整其衣冠、獨立莊門而望。看看近午、不見到來。母恐誤了農桑、令張勤自去田頭收割。③張劭聽得前村犬吠、又往望之、如此六七遭。因看紅日西沉、現出半輪新月、母出戶、令弟喚劭、曰…「兒久立倦矣。今日莫非巨卿不來？且自晚膳。」劭謂弟曰…「汝豈知巨卿不至耶？若范兄不至、吾誓不歸。汝農勞矣、可自歇息。」母弟再三勸歸、劭終不許。

(『古今小説』第十六卷「范巨卿雞黍死生交」)

張元伯…張劭のこと。 元伯はあざな。 山陽…地名。 范巨卿…張劭の親友。 張勤…張劭の弟。

問三 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

- (1) 「」で囲まれたA・B・Cの部分を日本語に訳せ。
(2) 波線部①と②の現代中国語音をピンインで記せ。(声調符号も含む。横書きすること)

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

———ここから記入すること———

中国語中国文学

総 点

--

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(次頁へ続く)

——ここから記入すること——

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——